

[生涯現役]

銭湯絵師 丸山清人さん

ID 1017099 問 中央公民館 (☎581-7580)、市長公室広報担当 (☎514-8092)



▲帆掛け船を描く丸山さん。一筆一筆慎重に進める様子を、会場全体が固唾をのんで見守る

今号の表紙は、市内在住の銭湯絵師、丸山清人さんの作品です。

丸山さんは昭和10年(1935年)東京都杉並区生まれ。子どものころから絵を描くのが好きだったという丸山さんが、銭湯の背景画を描き始めたのは18歳のとき。



▲黄・赤・群青・青・白の5色でさまざまな色をつくる

それから銭湯背景画一筋で描き続けてきたとのこと。

現役の銭湯絵師は、日本全国で3人のみ。その中でも最高齢の銭湯絵師として「生涯現役」を信条とされている丸山さんが、これまでに手掛けた作品は10,000点以上。銭湯の背景画だけでなく、個人宅や病院での制作、企画展でのライブペインティングなど、今なおさまざまな活動に取り組まれています。

3月14日に中央公民館で開催したライブペインティングでは、丸山さんのよどみない筆さばきで、富士山や松、帆掛け船などが次々と描か

れ、参加者の間からは終始、感嘆の声が聞かれました。

「背景画を描いてきて、嫌だと感じたことは一度もない。いい仕事をさせてもらってきた」と笑顔



▲丸山清人さん

で語る丸山さん。ライブペインティングで制作された作品は、中央公民館で展示しています。



▲ライブペインティングで完成した作品

中央公民館で行われたライブペインティングの様子を動画で見られます

